



2026年

二葉幼稚園 園のたより



7月の聖句

さがしなさい そうすればみつかる

マタイ7:7

7月のさんびか

うみでおよぐ

幼児さんびか 23

あらわして/おもしろい 

台風、地震、容赦なく襲い来る自然災害に、被災された方々へと思いを馳せ、地域の復興を願いつつ、小さな備えの大切さを痛感します。何気ない毎日の営みに改めて感謝の思いです。

さて、感情労働を伴う対人援助職の保育は、人と人との間で相互作用が起きるので、「これ」という正解が見えず、百人いれば百通りの方法があるでしょう。安心できる場所であるからこそ、時として、こどもたちは丸裸の感情をあらわしてきます。大切なのは、心に、身体に汗水流して行う泥臭くて地道な日々の営み(子育てと相通じるものがありますが)とわかっている、集団なのでより複雑です。保育後こどもたちのエピソードを語り合い、笑い合う中にも、あの時どうすればよかったのか、こどもたちのため、とは何か、と省察する先生たちに、またご家族に、それぞれが探し求める「何か」に、人知では計り知れない神さまからの応答が与えられますようにと祈ります。

6月はふれあい動物園、参観、クラルテ人形劇、年長はジャガイモ堀、と、日々の保育を大切にしたいと思いつつも、天候による変更等で行事がてんこ盛りに！ふれあい動物園は未就園児さんにも声をかけると、ちっちゃなおともだちが30名ほど遊びにきました！「へびも来るんですか？」「来ますよ。」「私、実は卒園児で、姉がふれあい動物園の時、首に蛇を巻いているのを見て『お姉ちゃん、危ない！』って思った記憶があるんです！」なんて笑いながら当時のエピソードを話してくださる方もいらっしゃいました！初めて近くで動物たちを見るちっちゃいさんは目をまん丸！動物よりも遊具に興味津々。寄り添うお母さんは何とも優しい笑顔で我が子や動物を見守っていました。

参観では少し難しい折り紙に挑戦したあと、友だちとピアノに合わせてリズムをした年少さん。大好きなご家族がそばにいてくださることに、嬉しいけれどドキドキする様子、ニコニコで友だちと遊ぶ様子、助け合う様子、いろんな姿がありました。楽しい動物園では「ぞうさんくる？」「ペンギンは？」「キリンくる？」3歳児ならではの楽しい会話が弾みました。

クラルテ人形劇では、歌とともに始まるや否や年中さんからケラケラと笑い声が聞こえてきました！年少の時は初めての人形劇にもドキドキしたけれど、経験による安心感からか、幾分リラックスして観ている様子が後方から伺えました。ふれあい動物園では、イグアナと出会い、ちょっと怖いけど気に入ったようで「カメレオンいたね〜。」「あ、あれはイグアナかな？」「うん！カメレオンだよね」と愛らしく！>がたくさん飛び交うような楽しい姿がありました！

年長さんは年中さんと一緒にケタケタよく笑って人形劇を見た後、ジャガイモ堀に行きました！近隣の方のご厚意で見事な畑での体験。ふっかふかの黒くて柔らかい土に少し手を入れると…「あった！」「出てきた！」「見て！」と出るわ出るわ、おもしろいほど！その数何と400個！次々見つかる虫にも大興奮。ふかふかの土で思わず団子作りも！さあ7月も、心弾んで過ごしましょう！【園長】